

# お元気ですか

# 南 恵子

# です

ニュースを読んでご  
意見をお寄せ下さい。

区議会議員

**南 恵子**

TEL 3790-1523



発行責任者 **日本共産党品川区議会議員 南 恵子** 八潮5-12-65-503

メールアドレス [minami@jcp-shinagawa.com](mailto:minami@jcp-shinagawa.com)

## 巨大地震が予想される中 埠頭は側方流動しないか、火力発電所 の燃料タンクは耐震化しているのか？

### 答弁 「知りませんよというわけにはいかない」

先の予算委員会で、東京湾に隣接している八潮地域の防災問題を取り上げました。火力発電所や清掃工場をはじめ、いわゆる危険物施設、また液状化の心配もなくなりません。

**大井・品川埠頭は耐震化されていないことがわかる**

八潮団地に隣接している大井と品川の両埠頭の埋め立ては昭和24年に始まり、品川埠頭は昭和36年に完成、大井埠頭は清掃工場ができたのが昭和48年なのでそれ以前に完成していることになりました。しかし、この当時は耐震という概念はありませんでしたので、1年前の大震災で改めてその必要性を認識したという状況です。

埠頭の耐震性があるのかどうかを質問すると、答弁は「現在、東京都で検証中」です。新年度以降に都の検討結果が出るようですので、その時にまた求めたいと思います。液状化があまり見られなかったので、浦安との違いは何かを聞くと・・・

浦安では広範囲に、かなり

深刻な被害が発生しました。しかし、八潮であまり見られなかったのは、構造上あるいは埋め立ての工法が違うなど浦安との違いは何かを質問しました。

担当課長は「(防潮堤を整備するので)液状化がおきた場合にどういった影響があるのかを含め、都の委員会で検討している」と答弁。

東京都の検討を待つて、安心して暮らせるようにしっかりとした対策を一刻も早く取ってほしいものです。

**都任せにせず 必要な情報をとり対策を**

埠頭に隣接している地域(東品川・東大井・八潮)には4万数千人が住んでいます。

火力発電所や品川清掃工場などが地震で火災などが起きたら大災害になります。近隣住民にもその影響は計り知れません。南は「必要な情報をしっかりと取り、また発言もするべ

きだ」と主張しました。

答弁は「区に許認可がないから知らないというわけにはいかない。区民を守る上で、そういう施設がどこにあるのか、今後どう推移するのか、災害が起きたときにどういう危険があるのか、区として防災対策を取る上で考慮に入れるべきだから消防庁からデータをいただくとか、高压ガス施設の規制官庁からデータをいただいで検討するとか対応したい」というものでした。何よりも、区民の命を守ることを最優先にしてほしいですね。

防災に関して、心配な点や要望などありましたら、気軽に声を寄せてください。

連絡先(3790)1523

## 共産党区議団主催の「防災学習会」においでください

# 我が家・我が街を守る 防災対策

## 自分のまちや家は安全か まちのみなさんと考える

東日本大震災から1年、大きな地震の発生が起きると予想されています。

品川区は、防災したります自助、次に共助、区の出番(公助)は最後としています。

でも、今から自分の家を倒れないようにするところにも、燃えないようにすることが、まちづくりの上でますます大事です。

みなさんのお宅ではどのような対策をとっていますか? 「何とかなる」で済まされないとが大震災でわかりました。

しかし、何をどのようにとまで備えたらいいのかわからないという方は多いようです。一緒に考えてみませんか。

共産党区議団が次の日程で計画した学習会に気軽に「参加ください」。

講師 **中村八郎氏**  
(NPO法人暮らしの安心安全サポーター 理事長・日大講師)

日時 4月19日(木)  
午後6時  
会場 荏原第5区民集会所

生活・雇用・子どもだて

・教育など何でもお気軽にご相談ください  
連絡先 南恵子区議会議員 電話(3790)1523